

ロケ撮影における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト Ver.2.0

[FC名:特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション]

作品名:

所属会社名及び所属先住所:

撮影現場責任者及び連絡先:

作品名 _____ のロケ撮影に関し、以下の新型コロナウイルス感染予防対策を、責任をもって行うことを報告する。また、以下のすべての内容について確認が取れなければ、撮影支援が受けられない場合があることを承諾する。

1. 事前対策

- 「ロケ撮影支援における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の内容を確認した。
- 感染対策を行う専属の衛生管理者(係)を、撮影現場に配置する。
- 撮影期間中、撮影関係者に、陽性と判明した者、発熱・咳・下痢等の症状がある者、同居家族や身近な知人の新型コロナウイルス感染が疑われる者は従事させない。
- ロケ撮影に携わる撮影関係者の緊急連絡先を代表者が確認・管理している。
- 撮影関係者(エキストラを含む)が撮影期間中に必要なマスク、手袋、消毒液等の用意ができています。
- 撮影現場では、撮影関係者の検温結果を毎日確認できる体制になっている。
- 撮影現場の責任者を明確にしている。
- 撮影地において、撮影関係者に感染が疑われる者が発生した場合の対処法や連絡先等の確認を済ませている。
- 厚生労働省が定める予防対策の確認を済ませている。

2. 撮影現場において

- 撮影現場では、適切な対人距離(大声なしの場面では「人と人が触れ合わない距離」を、可能な限り確保し、効果的な換気を徹底する。
- 撮影現場の責任者は、FCと連絡が行える体制になっている。
- 適切なマスクの着用や石鹸での手洗い、アルコール等の手指消毒液の設置を徹底する。
- 撮影関係者の毎日の検温結果の確認を徹底する。
- 撮影関係者の撮影中の行動を代表者が確認し、撮影終了後5日間は感染者がいないか確認する。
- ロケ地管理者が定めているロケ現場の消毒を徹底する。
- 撮影場所においては、原則として、各都道府県が定めるイベント開催の規定人数までとし、部外者の立ち入りを制限する。
- 控室を含む施設等の屋内では、効果的に換気を行い、原則適切なマスクを着用する。また、消毒液などを設置する。
- ロケ撮影における車輦での移動は、正しいマスクの常時着用し、大声や長時間の会話を控え、効果的な換気を行う。
- 宿泊を伴う場合は、原則として一人一部屋(シングル)の部屋を確保している。
- 食事は、原則一個ずつパッキングされたものを提供する。ケータリングの場合は、ガイドラインに沿って提供する。
- 食事を扱う従事者は、食事の都度、事前に手洗いや手指消毒を済ませ、適切なマスクと手袋を正しく着用する。
- 飲料水は持参するよう周知し、提供する場合は、個別包装のペットボトルなどを利用する。
- 室内で飲食をとる際は、できるだけお互いの距離を保ち必要に応じてアクリル板等の設置対策を検討する。
- 清掃やゴミの廃棄を行う者は、適切なマスクや手袋を着用し、終了後は石鹸での手洗いと消毒を徹底する。
- ゴミは、衛生管理者(係)の指導の下、撮影関係者が撮影地のルールに従い処分する。
- 撮影地でゴミを処理する際は、ごみ処理のガイドライン等に沿って感染予防対策を講じた上で処理する。
- ロケ撮影の際、通行人や見学者が密にならないよう、配慮を徹底する。
- 撮影終了後は、事前にロケ地管理者と協議した上で、映像製作者の責任において、撮影現場の消毒を行う。
- 感染予防のため、咳エチケット、適切なマスクの着用、石鹸での手洗い及び適切な対人距離の確保、効果的な換気に努めることの徹底について、撮影関係者に対し、周知・広報を行う。

3. 撮影中に感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- 撮影中に感染が疑われる者が発生した場合、直ちに隔離を行うとともに、ガイドラインに沿って対処する。また、共有した物等を消毒するとともに、必ずFC等へ連絡する。
- 有症状時は出勤しないこと。
- 対応するスタッフは、適切なマスクや手袋の着用を徹底し、対応前後には手洗い、手指消毒を徹底する。
- 撮影関係者の感染が確認された場合、ガイドラインに沿って対応する。

4. その他

- 「ロケ撮影支援における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の内容を順守する。